

# Power point 音声録音方法 (Windows)

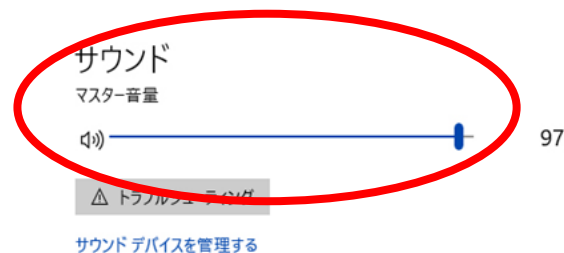
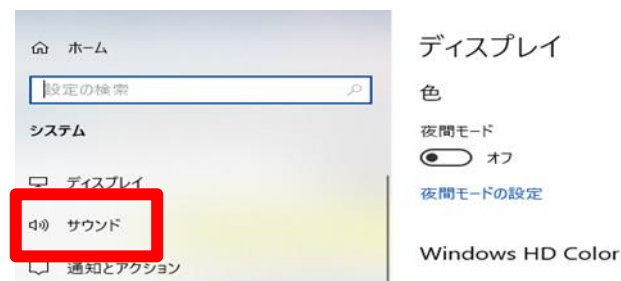
Power point 2013-2016

第54回四国透析療法研究会  
音声入り発表スライド作成方法

【一般演題】

## マイク確認

入力マイクが内蔵(または外部接続または外部接続または外部接続または外部接続)されていることをご確認ください。



### 入力

入力デバイスを選択してください

マイク (High Definition Audio Devi...)

アプリによっては、ここで選択したものと異なるサウンド デバイスを使用するように設定されている場合があります。サウンドの詳細オプションでアプリの音量とデバイスをカスタマイズします。

デバイスのプロパティ

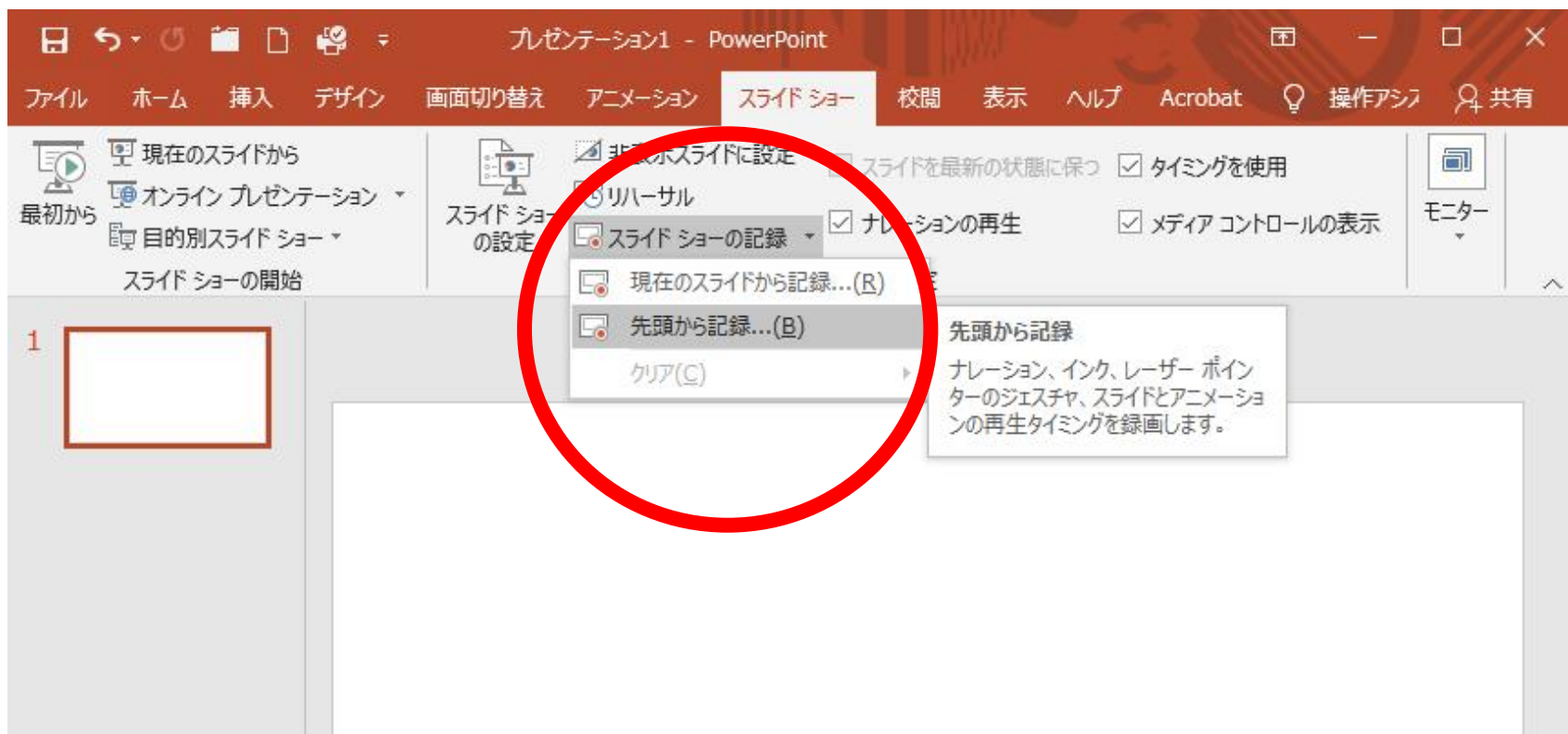
マイクのテスト



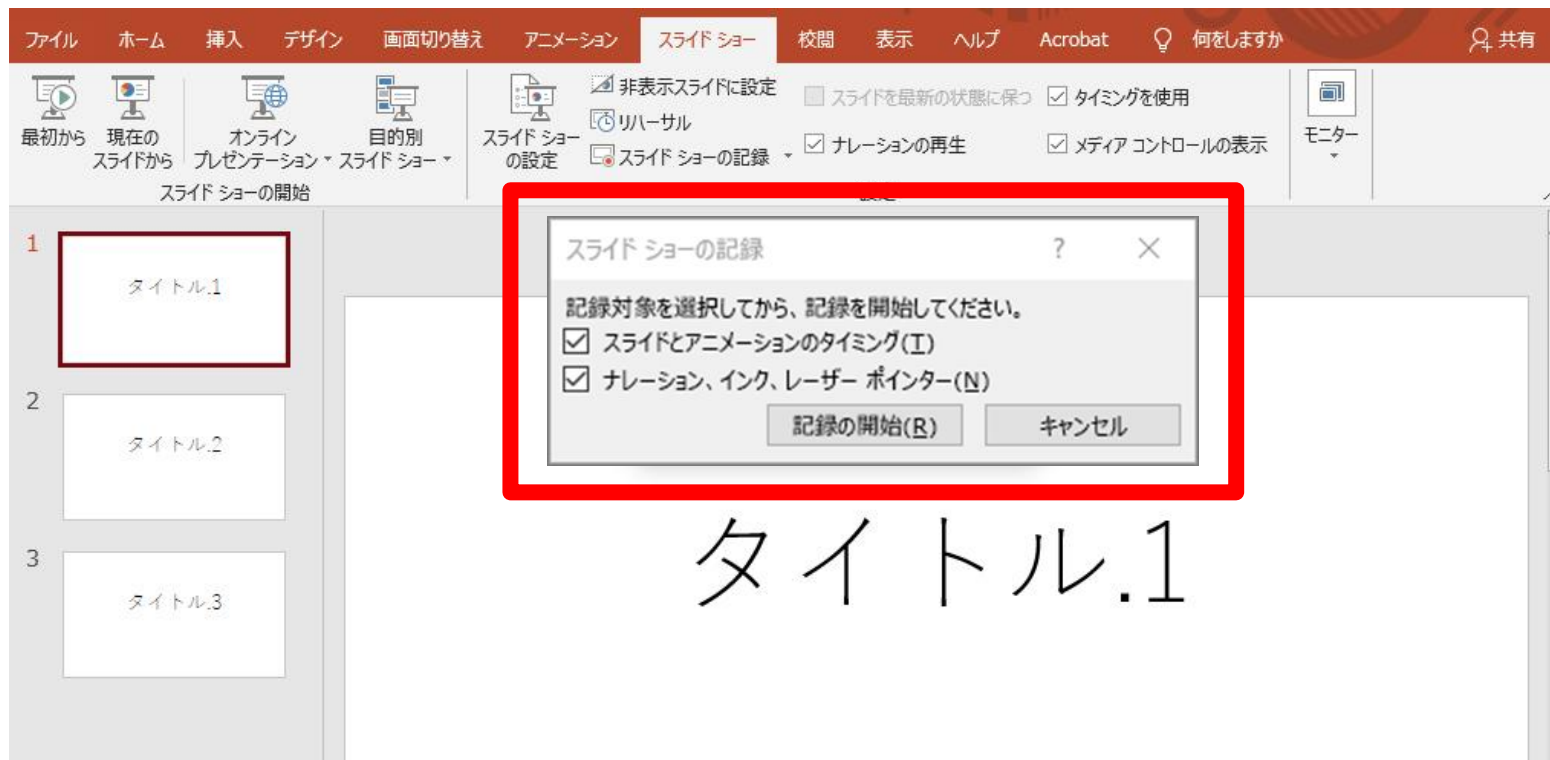
Windowsの設定 → システム → サウンド → マスター音量・入力デバイスの確認、マイクのテストのチェック

# スライドに音声を入れる①

- 1.スライドショータブをクリック
- 2.スライドショーの記録をクリック
- 3.先頭から記録・・・



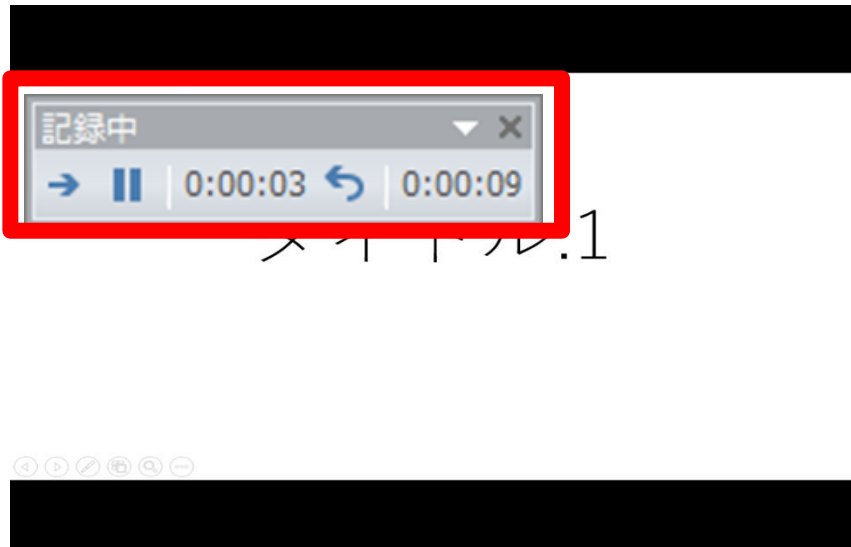
# スライドに音声を入れる②



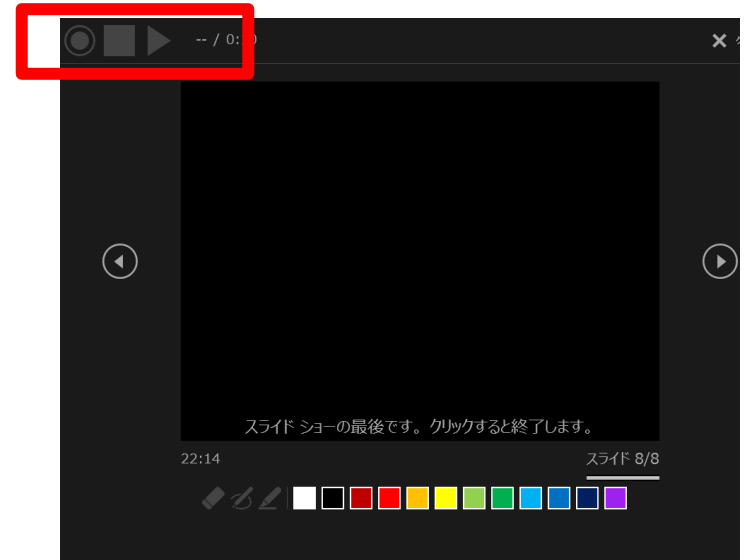
[スライドショーの記録] ボックスで、記録のチェックボックスをオンにし、[録音の開始] をクリックします。

**すぐに録音が始まります。**




# スライドに音声を入れる③



or

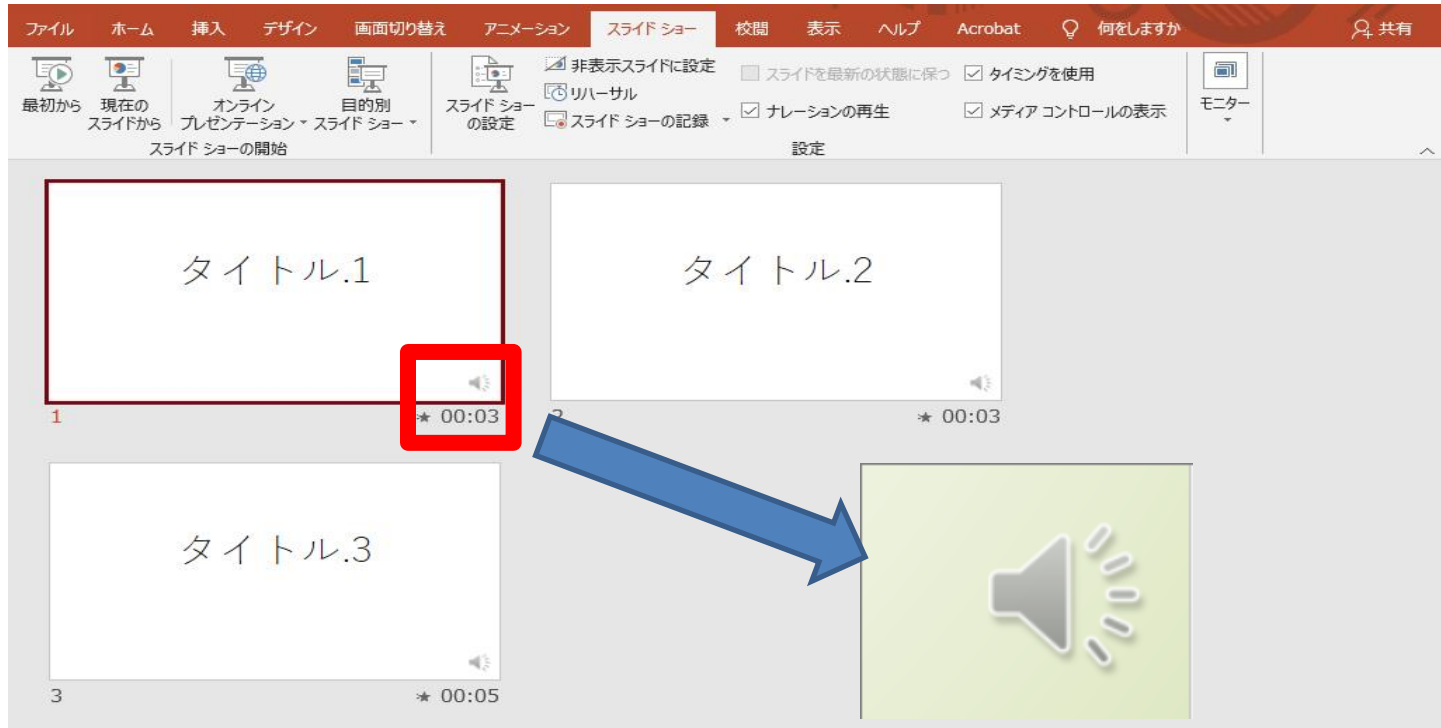


**スライドを切り替えながら、マイクに向かって音声録音をしてください**

- ・次のスライドに移動する: 
- ・録音を一時停止する: 
- ・現在のスライドを再び録音する: 

ナレーション（オーディオ、インク、レーザー ポインターを含む）を再び記録する場合、同じスライドで記録を再開すると、PowerPoint は以前に記録したナレーション（オーディオ、インク、レーザー ポインターを含む）を消去します。

# 音声の録音終了確認



音声の録音を終了すると、ナレーションがあるスライドの右下にサウンドアイコンが表示されます。音声録音終了後、上書き保存をしてください。記録されたスライドショーのタイミングは自動的に保存されます。[スライド一覧]表示モードの各スライドの下にタイミングが表示されます。

**スライド録音を完了したら、すぐに再生してご確認してください。**

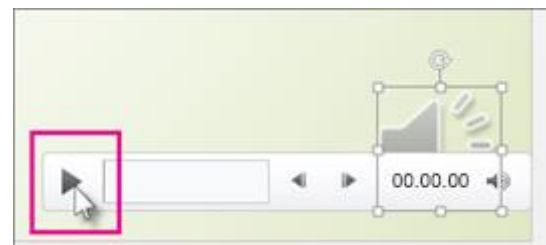
# 記録したスライドショーのプレビューを表示



[スライドショー] タブで、[最初] または [現在のスライドから] をクリックします。再生中には、アニメーション、インク操作、レーザーポインター、オーディオ、ビデオが同期して再生されます。

## 録音したオーディオをプレビュー

[標準] ビューで、スライドの右下にあるサウンドアイコンをクリックし、[再生] をクリックします。



# 音声録音の修正



音声録音を間違った時には、録音し直したいスライドをスライドのナレーションを録音し直せば、自動的に上書きされます。  
録音が終了したら、次のスライドに進まずに **Esc** キーを押して終了する。

- 1.スライドショータブをクリック
- 2.スライドショーの記録をクリック
- 3.現在のスライドから記録



# 記録に関するヒント

- 記録はスライドごとにプレゼンテーションに追加されるので、記録を変更する場合は、影響を受けるスライドの再記録だけが必要です。また、再記録しなくても、記録後にスライドの順序を並べ替えることができます。また、プレゼンテーションの記録中に簡単に一時停止して区切ることもできます。
- PowerPoint では、スライド間の切り替え中にはオーディオまたはビデオは記録されないため、スライドを進めながら話さないようにしてください。また、切り替えが円滑に行われ、スライドの切り替え中にナレーションがカットされないように、各スライドの最初と最後に少し無音の時間を設けます。
- Web 用 PowerPoint では、ナレーションを記録することはできません。ナレーションを記録するには、PowerPoint のデスクトップバージョンをお使いください。
- 対象ユーザーが Web 用 PowerPoint を使って記録を視聴する可能性がある場合は、Web 用 PowerPoint でサポートされている切り替え効果を使います（切り取り、フェード、プッシュ、ワイプ、分割、ランダム バー、図形、変形）。
- 品質をより高くするには、外部 マイクを使います。
- 最初のスライド記録を完了したら、すぐに再生します。
- プレゼンテーションの記録を進める前に、オーディオとビデオのサウンドと表示が予想どおりであることを確認します。

# 音声スライドショーを動画として書き出す①



完成したスライドショーを動画としてエクスポート

- ・ファイルタブをクリック
- ・エクスポートを選択
- ・ビデオの作成を選択

# 音声スライドショーを動画として書き出す②

エクスポート

- PDF/XPS ドキュメントの作成
- ビデオの作成**
- アニメーション GIF の作成
- プレゼンテーション パック
- 配布資料の作成
- ファイルの種類の変更

### ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

? [スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)  
中ファイル サイズおよび中程度の品質...

記録されたタイミングとナレーションを使用...  
タイミングが設定されていないスライドで...

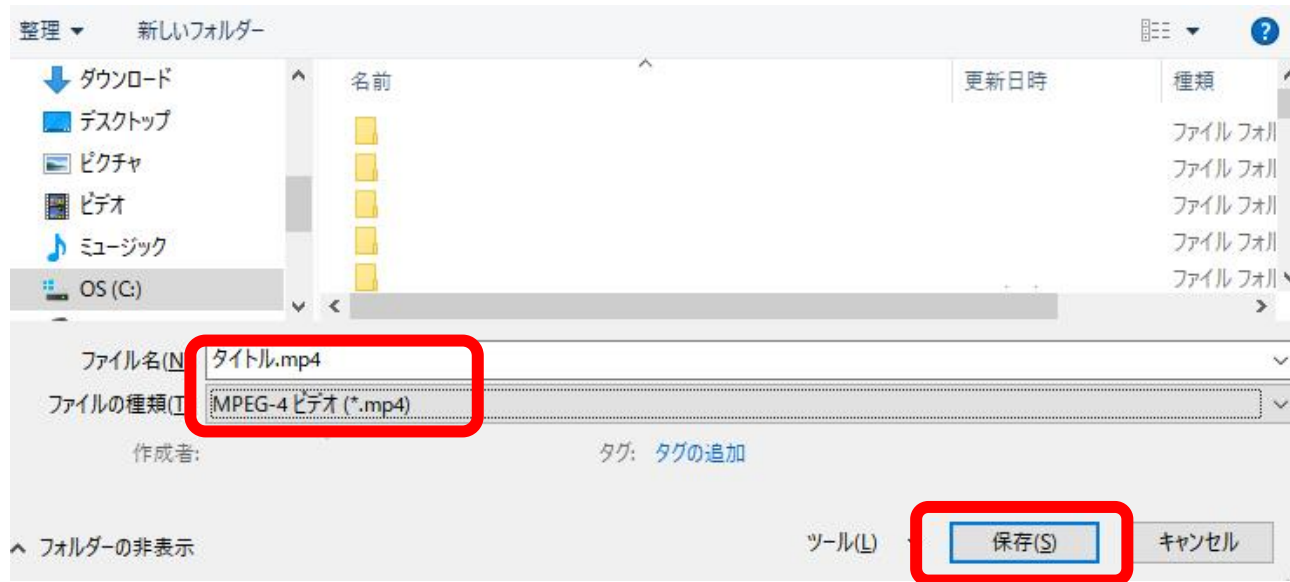
各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

## ビデオの作成設定

1. HD (720p) 中ファイルサイズ程度
2. 記録されたタイミングとナレーションを使用する
3. ビデオの作成ボタンを押す

# 音声スライドショーを動画として書き出す③



## 名前を付けて保存

1. 提出するファイル名は、「**演題受付番号、氏名**」を記載してください。
2. ファイルの種類は、「**MPEG-4ビデオ(\*.mp4)**」を選択する。
3. 保存ボタンを押す

※必ず作成された動画の容量を確認してください。重いようでしたら②に戻り、標準(480P)で保存しなおしてください。